



少年少女わたしの作品

小1
ほ
藤井 紬葵

五年
道
帆花

城陽市・古川小1年 藤井 紬葵

栗東市・治田西小5年 鈴木 帆花

作文

遠足で学んだこと

伏見区・京都聖母学院小4年

八上 将

当時のぎじゅつの力で琵琶湖疏水を完成させるという、大きなゆめのようなプロジェクトを成しとげるのに、どれだけの失敗とちよう戦をくり返したのだろう。

完成させるまでがんばり続ける強い気持ちは、どこからわくのだろう。

そういうことを考えたとき「やっぱり世の中の、役に立たいという強い気持ちはなければ、出来なかったのではないか」と思った。

「すばらしいアイデアを思いつい

二年
ちかも
川口こほね

海辺を歩く
春

木津川市・相楽小2年 川口 心羽

伏見区・稲荷小6年 河辺 春

でも、最後まであきらめずにやりとげることは出来たのだろうか」と考えてみたりもした。

ぼくは、将来どんな仕事をするかはまだわからない。だけど、「一生けん命働いて、だれかにとって役に立つことができればいいな」と思った。それが、今回の遠足で学んだことだ。

楽しかったうんどう会

山科区・一燈園小2年

大宅 紬葵

今日は、楽しみにしていたうんどう会がありました。

前の日に雨がふっていたので、だい2グラウンドがぐちゃぐちゃかと思っていたら、キレイになっていたのでびっくりしました。

うんどう会が始まって、さいしょに出たのが一りん車リレーで

三年
作文
新井陸斗

異音
山元 湊貴

西京区・桂小3年 新井 陸斗

草津市・松原中1年 山元 湊貴

す。海王さんとおねえさんにほじよしてもらったけど、上手にのれました。

かりものきょうそうでは、1回もかりてもらえなかったのがくやしかったです。親子でボールおくりでは、お父さんと出ました。ボールが、ふるしきからおちそうになったけど、お父さんといっしょに、ふるしきをしっかりとって、おとさずにつきのの人に、わたすことができました。

おうえんがっせんでは、上手におどれました。

1ばん楽しみにしていた学園リレーでは、いつもよりはやく走れて、1人ぬかすことができたのでうれしかったです。

ぼくがいる青組がかったので、楽しいうんどう会になりました。

詩

秋休み

伏見区・桃山小6年

大槻 和

春休み 夏休み 冬休み
なぜ秋休みがないんだろう
いつも思う

頭からはなれない疑問
誰かこの疑問を
解決してください
そういう日が
くるといいな

さびしがりやのかたばみ

伏見区・伏見板橋小4年

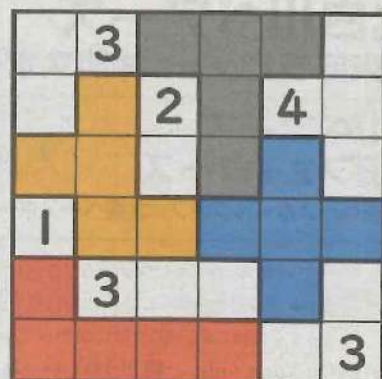
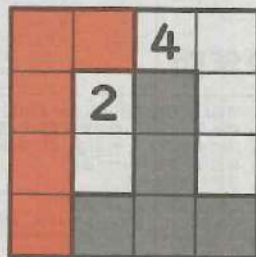
高橋 稟

わたしは小さな花をさかせるでもだれもわたしに気づかないわたしは わたしの小さな葉っぱを見るこもれびが当たっている大きな野原の小さなわたし大きな木によりそってさびしがりやのわたしはだれかこないか目をつむる

作品募集 小、中学生の作文・詩(いずれも400字詰め原稿用紙1枚以内) および習字(半紙)で、自分の作品に限ります。作品には郵便番号、住所、氏名、電話番号、学校名、学年を書いたメモをノリつけて、〒604-18577 京都新聞社文化部「少年少女わたしの作品」係へ添削することもあります。作品は返却しません。採用分には図書カードを贈ります。

編集部から

京都新聞ジュニアタイムズへの感想をお待ちしています。「こんな記事が読みたい」というご希望もあれば送ってください。メールアドレスはkouryu-s@mb.kyoto-np.co.jpです。



数字のなわばり

京大博士 パズル 答え